

## 令和6年度 愛川高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育の専門家としての自覚、意識を高め、倫理意識の保持・向上を図り、不祥事を未然に防止する。	不祥事防止会議や職員啓発・点検資料の振り返りを通して、法令だけではなく社会的なルールや規範、倫理に則った行動が教員に求められていることを確認し、事故・不祥事ゼロを達成した。
職場のハラスメントの防止	職場で悩んでいる人がいないか、他の職員にも配慮し、他者への共感性を持ち、良好な職場環境をつくることにより、職場におけるハラスメント行為を防止する。	計画通りに職場研修を実施した。自覚なく発した言動が相手にハラスメントと受け止められてしまうことがないように、ハラスメントについて正しい知識を持ち、いきいきと働くことができる良好な職場環境をつくる体制づくりを継続している。
生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ、セクハラ行為の発生を未然に防止する。	スクール・セクハラは、個人だけの問題でなく、組織で対応が必要な課題であることを職員全員で共有し、不適切な行為を防止した。
体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰や不適切指導を未然に防止する。	職員啓発・点検資料を用いて職員が自身の指導・支援について振り返り、体罰は暴力行為であり、教育的効果はないことを確認し、行き過ぎた指導を防止した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定めたマニュアルに基づき業務を行うとともに、確固とした点検体制を維持し、事故・不祥事を防止する。	マニュアルに沿って業務を遂行するとともに、都度基本的な注意点を再確認し、気付いた点は即修正するなど適切な対応により事故・不祥事を防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	個人情報の適切な管理に努め、個人情報の紛失及び流失を防止する。	個人情報の取扱いに関するルールを再確認する機会を設け、職員に当事者意識を持たせた。また、ルールどおりに適切に管理し、紛失や流失を防止した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守に努めるとともに、安全運転を行い、交通違反や交通事故を防止する。とりわけ、飲酒運転や酒気帯び運転は絶対にしない。	職員啓発・点検資料を用いて、交通ルールなどを確認するとともに、軽微な事故であっても速やかに報告することを徹底し、目標を達成した。

業務執行体制の確保等の徹底	職員は情報共有に努め、業務協力体制と相互チェック体制を構築し、円滑な業務体制を構築する。	職員の協働性や同僚性が高まるよう、管理職が機を捉えて声かけを行い、円滑な業務体制を敷いた。ミスが起こったときは、速やかに報告され、被害額題してし まうことを防いだ。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に基づき、公費に準じた適正な会計処理を行う。	管理職による事務処理の点検回数を増やし、適正な会計処理が行われる体制を築いた。また、財務事務調査指導の指導結果を踏まえて、事務処理の手順と適正な事務執行について共有し、目標を達成した。

## ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事を自分事として捉える体制づくりを意識し、グループの持ち回りで毎月の不祥事防止会議を実施した。また、グループ員による不祥事防止会議に加えて副校長が不祥事ゼロプログラムに基づきミニ研修会を行い、フィードバックすることで不祥事を未然に防止するための体制づくりに取り組んだ。

自分事として捉える不祥事防止会議や職場研修の振り返りを習慣化したことで、年間を通して不祥事防止の注意喚起を行い、すべての項目において概ね目標を達成することができた。

次年度も引き続き不祥事を自分事として捉える取組を組織的に実施し、不祥事防止への組織的な対応に取り組む。